

ロボットによる
自由自在なラボオートメーション

Kawasaki Robot

ラボの自動化

Lab Automation Robot System

特長

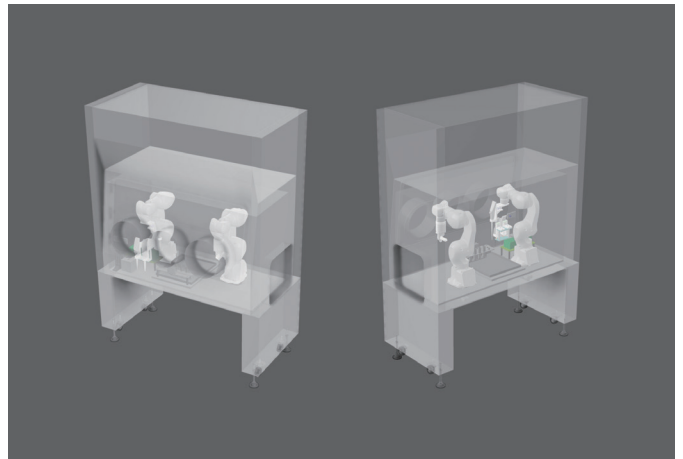
- 作業効率化：試薬や検体を必要なタイミングで装置へ供給。また排出、次工程への移載も可能。
無人化・省人化・24時間稼働。
- 品質安定：ロボットにより手技バラつきを解消。パラメータによるデータ管理および技術移管が可能。
- 曝露防止：無人化により高活性物・危険物環境での作業から解放。

K-Lab 1



K-Lab1 では、必要なモジュールを設定したシステム構築が可能です。また、先々のモジュール追加およびレイアウト変更も柔軟に対応できます。これによりクリーン環境対応のロボットおよび走行レールなど川崎重工の幅広い製品を使用頂くことで、細胞培養や分析工程の自動化が可能になります。

K-Lab 2

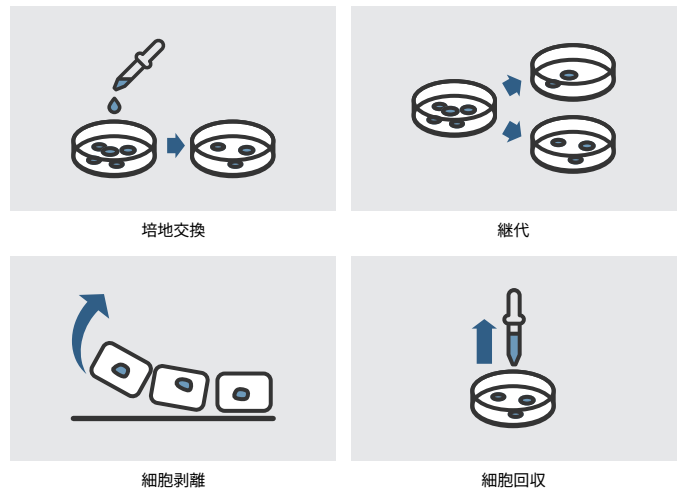


K-Lab2 はクリーンベンチ内で 2 台のロボットが稼働します。川崎重工は PoC 確立のための研究開発支援をしております。6 軸ロボット × 2 台の連携作業で付帯設備を削減することができ、ハンドツールおよび作業台の構成を変更することで別用途のリユースが可能になります。

カワサキ独自のアプリケーションで 自由な組み合わせが可能



手技によるばらつきをなくし、分注や剥離など 異なる作業を実施することが可能



※このカタログに記載の内容は、改良のため、予告なく改訂・変更することがあります。
※このカタログに記載の製品は、日本国内向けです。海外設置の場合は、仕様異なりますので、別途ご相談ください。
※このカタログに記載の製品には、“外国為替及び外国貿易法”で定められた規制貨物に該当する製品（または技術）が含まれています。
該当製品を輸出する際には、同法に基づく輸出許可等が必要ですのでご注意ください。

